

## 志賀高原「バンダイナムコの森」に巣箱やエコ標語プレートなどを設置

ナムコのデイケアセンター「かいかや横浜店」利用者の皆さんのアイデアが実現

株式会社バンダイナムコホールディングス

(株)バンダイナムコホールディングス〔本社：東京都港区 社長：高須武男〕は、10月21日にグループ社員約20名参加のもと、志賀高原（長野県山ノ内町）「バンダイナムコの森」に巣箱11個とエコに関する標語を記載したプレート45枚の設置を行いました。

今回設置した巣箱やプレートはバンダイナムコグループの(株)ナムコ〔本社：東京都大田区 社長：橋正裕〕が運営するデイサービスセンター「かいかや横浜店」の利用者の皆さん約40名・70作品のアイデアにより作成されたものです。標語は、いろは歌の頭文字を使用したもので、「(い)いつまでも緑あふれる志賀の森」「(は)始めよう、でかけるときはエコ袋」「(お)温暖化、防ぐ緑の志賀高原」などエコをテーマとした内容になっています。巣箱や標語プレートはバンダイナムコの森の遊歩道沿いに設置され、バンダイナムコの森を訪れる人々に環境保護への理解を深めることを目的としています。

バンダイナムコグループは、「夢・遊び・感動」を世界中の人々に提供し続けることを企業理念とし、「夢・遊び・感動」を提供し続けるためのCSR基本方針を定めています。今後もこの方針にのっとり、バンダイナムコグループらしい様々な活動に取り組みます。



(財)下高井郡山ノ内町和合会の皆様のご協力により巣箱と標語プレートを設置する当社グループ社員

「バンダイナムコの森」 2007年4月より長野県が橋渡しを行い森林の整備と利用に意欲を持つ企業と連携して推進する「森林（もり）の里親契約」を(財)下高井郡山ノ内町和合会との間で締結。志賀高原（長野県山ノ内町）の約47ヘクタールの森林の里親となり、森林整備作業の費用を一部負担するほか、森林保護と理解に繋がる各種活動の場として活用しています。

「かいかや」ナムコが2004年に開設した介護保険で利用できるサービスのひとつの通所介護施設で、要介護認定を受けた方（利用者）が、ケアプラン（居宅介護サービス計画）のもとに利用することのできる通所介護施設で、入浴・食事などの提供や機能訓練を行っています。